

教育長室だより

第 5 号

2018.8.22

災害級の暑さといわれた今年の夏ですが、お盆も過ぎてわずかながら炎暑も緩んできたように感じます。ですがまだまだ油断は禁物です。

残暑お見舞い申し上げます。

○

子どもたちの夏休みもあとわずかとなりました。町教委主催の「各種教室」もほとんどが終わりました。今年もたくさん的小学生や幼稚園児が参加してくれています。

子どもたちがいろいろなことを“やりたがる子”になることを応援したいと考えています。子どもたちにとって学びの最も大きな原動力は興味や関心を持つことです。保護者の皆さんも地域の方々も子どもたちの“活動の意欲”の後押しをしてほしいと願っています。価値あるものに熱中できる子は、ネットやゲームへの“依存”に陥らないといわれています。

○

ブロック塀問題と熱中症問題が大きな問題となりました。

ブロック塀問題は大阪の不幸な事故を受けて全国的に危険回避の動きが活発になりました。本町では町の施設を調査した結果「危険」と診断されたブロック塀はほとんどなかったのですが、この機会に学校関係の古いブロック塀はすべて改修することにしました。順に工事を進めています。

○

もうひとつの課題が熱中症対策です。これも犠牲者が生まれて全国的な問題となりました。町内小学校のプール開放を7月末まで中止したのは、プールでの熱中症が危惧されたからです。水泳もハードな運動の一つであり、水温が高すぎる上にプールサイドの気温が高いと体調管理が難しくなるということです。ただ、外遊びが禁じられプールにも行けないとなると、子どもたちの活力の行き場もなくなるだろうということで、8月からは環境と体調のコンディションに十分注意をはらいながら開放することにしました。

中学校の部活にも心配の声が聞かれました。全部中止すれば熱中症対策としては安心ですが、これまで頑張ってきた子どもたちの気持ちなども考慮し、給水や活動時間に留意しながら慎重に活動することにしています。

○

秋の幼稚園、小学校の運動会についても心配の声が聞かれます。9月下旬開催という時期のことやそれに先立つ練習での熱中症の心配です。確かにまだまだ暑い時期ではあります。春に開催する学校もかなりあるのはこのためです。



あらためて運動会の意義について考えてみる必要があると思います。

力を合わせて練習の成果を精一杯発表する体験をすることや練習を通じて学級や学年の仲間との絆を強くすることも大切な意義です。また、当日の運営にあたる高学年児童にとっては集団の世話をする貴重な経験にもなります。

小学校・幼稚園の運動会は子どもたちの活動の様子を見ていただく地域全体に開かれた数少ない機会です。地域の方々に共々に子どもを育てていただくために子どもの元気な姿を見ていただくのです。

こうした様々な目的を達成するためには、学級集団ができて間もない春期の開催はやや時期的に難しさがあります。とくに幼稚園年少児や小学校1年生にとっては園や学校にまだ十分なじんでない時期かもしれません。

そしてまた、1年間の学習内容をしっかりと身につけるためには、あまりたくさん時間を練習や準備に費やすことはできません。



以上のようなことを考慮するとやはり秋の開催が望ましいということになると思います。とはいえ健康や安全が第一なのは間違いないので、開催時期については10月開催や春開催も含めて、来年度に向けてもう一度よく検討したいと思います。



さて、夏休みがもうすぐ終わります。今年の夏休みはお子さんにとってどのようなものだったでしょうか。普段できないことができたでしょうか。お家の人とゆっくり話ができたでしょうか。

2学期はまた、学校に通う生活リズムの回復がとても大切になります。もし、早起きなどの習慣が崩れているお子さんがいれば、心を鬼にして早起きをさせてください。早起きは早寝の呼び水です。



2学期は様々な行事も多く、学びの量も最も多い学期です。充実させるためにも元気な心と体で2学期に備えたいものです。支援をお願いいたします。